

目次

水力開発についての雑感……………大橋 健 1

松原・下笠ダムの工事設備……………副島 健智 2

水窪ダムの機械設備計画……………高橋 光雄 7

椴花ダムの工事概要と施工設備……………吉田 勝英 7

〔随想〕 ブラジル見たま……………山崎 陽三 13

梓川電源開発工事の現況……………野瀬 正儀 18

奈川渡ダム基礎の不良岩処理……………金子 喜太郎 22

日鉱釈迦内鉱業所第1斜坑の掘進……………水越 達雄 30

建設機械の見方 (V)……………寺沢 研 34

—アスファルトディストリビュータとチップス
 ブレックダの試験方法と試験結果—……………建設機械化研究所 42

ヨーロッパとこころどころ……………加藤 三重次 46

グラビヤ—昭和41年度 除雪機械展示実演会

〔海外だより〕 Manila 駐在員の手帖から……………田良原 雅也 51

〔建設業のモータプールめぐり〕 (その9)

XVII. 日本舗道のモータプール……………上野 一 55

XVIII. 鴻池組のモータプール……………小嶋 甫 57

〔建設機械化講座〕 第49回 現場フォアマンのための土木と施工法

XI. 特殊掘削工法 (その4)

4. 都市内の路面に作られる作業孔の掘削工法(1) 小黒 敏嗣 59

〔部会報告〕

建設機械整備標準工数および標準料金……………整備部会 62

〔建設機械化研究所抄報〕

試験研究報告 (No. 26)……………建設機械化研究所 69

〔文献調査〕

逆え棒方式 (Tie-back) による土留工……………施工部会 74
 文献調査委員会

〔支部便り〕

第4回 除雪機械展示実演会……………北海道支部 76

ニューズ……………(編集部) 78

会員消息……………79

行事一覧・編集後記……………(伊藤・渡辺) 80

◇表紙写真説明◇

三菱 TMS 8 形ツインモータスクレーパ

三菱重工業株式会社

本機は、わが国の土木、建設事情を十分に研究し、数々の新機構を採用した。特に、わが国初めてのツインエンジンの採用、全輪駆動方式などによって、狭い作業場、軟弱な地盤、急傾斜地などの悪条件でも抜群の高性能を発揮する。

- 全輪駆動である
前後の4輪全部に動力が伝えられるので、タイヤと路面の粘着力が有効に利用され、軟弱地での走破性がすぐれている。
- 大形低圧タイヤを使用している
車体重量の割に大形のタイヤを使用しているため、接地圧が小さく、軟弱地での沈下も少なく、走行抵抗も小さい。また、散布した土の転圧効果もすぐれている。
- 全油圧操作式である
ボウル、エプロン、エゼクタとも油圧操作であるから、敏速な操作ができる。またボウルを油圧で押し下げるので、小形車であっても大きなくい込み力が得られる。
- エンジン出力が大きい
車両の前後に130PSのディーゼルエンジンを各1台、計260PSを備えており、車体重量に対するエンジン出力の比が大きいので、けん引力、登坂能力がすぐれている。

おもな仕様

ボウル容量	平積 6m ³ , 山積 8m ³	全長	10,200 mm (ボウル水平位置にて)
掘削幅	2,500 mm	全幅	2,885 mm
最大掘削深さ	360 mm	全高	3,060 mm (エプロンを閉じた状態)
最大まき土厚さ	460 mm	エンジン	三菱 6DB 10C 形ディーゼル 2基搭載
走行速度	最高 41 km/hr (前進3段、後進1段)	最大出力	130 PS×2基
車両重量	16,550 kg		